

いなり山についておはなししましょう。日本には三万ものなんとかわいいなりじんじゃというものがあるそうなのですが、それらのおおもとになったのが「ふしみいなりたいしゃ」です。みなさんがたてわりかつどうでのぼる山ですね。

ここにいなりのかみさまをまつたのは、「はたのいろこ」という人だそうです。七一年のことだそうです。それより十年まえに「はたのとり」という人がまつおたいしやをたてていますが、この二人はきょうだいだという人もいます。

でももっとまえからいなり山のふもとにはたさんたちがすんでいたしようがあります。こんないつたえがあるのです。

きんめいてんのうのゆめの中でかみさまのおつげがあったといいます。日本のどこかに「はたのおおつち」という名まえの人がいるからその人をさがして「おおくらだいじん」(くにのおさいふをあずかる人)にするがよい。そうすれば、よの中はおちつき、さかえるだろう、というおつげだったそうです。それで、さがしまわったらいなり山のふもとにその人がいた。それで、さっそくおおくらだいじんになってもらってうまくいった。」というものです。

ふしみいなりができるよりも二百年ほどまえのはなしです。「はたのおおつち」はいせのすいぎんというきんぞくをうりかいる人だったようです。

きつとそのころから、いなり山のふもとにすむはたさんたちは力をたくわえていたのでしょうかね。次のプリントで、いなり山のもちのでんせつのはなしを試してみましよう。まだまだつづきますよ。

① なんのはなしでしょう？

② 日本にはどのくらいいなりじんじゃがあるのですか？

③ みなさんはなにのときにいなり山にのぼるのですか？

④ いなりのかみさまをはたさんがいなり山にまつたのはいつですか？

⑤ だれがいなりのかみさまをまつりましたか？

⑥ ことはせいれき、なん年ですか？

⑦ ひきぎんで、ふしみいなりたいしゃはなん年まえにできたかもとめましょう。

⑧ おおくらだいじんはどんなしごとをする人ですか？

⑨ あっているものに○をつけましょう。

() はたさんたちは力をもっていた。

() はたのおおつちはおおつにすんでいた。

() ふしみ、といういなりは三万ある。

⑩ おもったことを五行でまとめましょう。

できばえは？



稲荷山いなりやまについてお話ししましょう。全国に約三万もの〇〇稲荷神社という神社があるそうなのですが、それらの本家本元が私たちがたてわり活動かつどうでのぼる山の伏見稲荷大社ふしみいなりたいしゃです。

ここに稲荷いなり(稲成いねな)をまつたのは秦氏はたしの一人、秦伊呂巨はたのいりこという人だそうです。七一年のことでだそうです。それより九年前に秦都理はたのとりにという人が松尾大社まつおたいしゃを建てていますが、この二人は兄弟だという人もいます。

でももっと前から稲荷山のふもとに秦氏が住んでいた証拠しやうこがあります。こんな伝説でんせつがあるのです。

「欽明天皇きんめいてんのうがまだ皇太子こうたいしだった時、夢ゆめの中でおつげがあったという。『日本のどこかに秦大津父はたのおおつちという名前なまえの人がきつといるからその人をさがして大蔵大臣おおくらだいじんにするがよい。』そうすれば、世の中はおちつき、国はさかえるだろう。』それで、さがし回まわったら本当にその名前なまえの人がいた。それで、大蔵大臣おおくらだいじんをしてもらって、政治せいじがうまくいった。」というものです。

伏見稲荷ふしみいなりができるよりも二百年ほど前まえのはなしです。秦大津父はたのおおつちはどうか当時の都飛鳥みやこあすか(現在の奈良県明日香村あすかむら)と伊勢いせを行いったり来きたりして水銀すいぎんを運はこんでいたそうです。当時は水銀すいぎんが伊勢いせではたくさんとれていて、中国ちゆうごくにも輸出ゆしゅつしていたほどでした。

古墳こふんの発掘はつくわくをすると、どつさり水銀すいぎんでできた朱しゆでかざられたものができますが、不老不死ふろふしの薬くすりやおまじないにかわれたようなのです。きつとそのころから、稲荷山いなりやまのふもとに住む秦氏はたしは力をたくわえていたのでしょうか。次号で、稲荷山いなりやまのもちの伝説でんせつのはなしをしてみましょう。まだまだ奥おくが深いふかですよ。

① 何の話でしょう？

② たてわり活動かつどうでのぼる山は何という名前ですか？

③ 本家本元ほんけほんげんの意味を調べて書きましょう。

④ 伏見稲荷大社ふしみいなりおほいそができたのは何年前ですか？

⑤ 伏見稲荷大社ふしみいなりおほいそはだれがたてましたか？

⑥ 松尾大社まつおたいおほいそをたてたのはだれですか？

⑦ 伏見稲荷大社ふしみいなりおほいそと松尾大社まつおたいおほいその共通点きゆうこうてんは？

⑧ 秦大津父はたのおおつちについてわかったことをかじょうがきでまとめましょう。

⑨ あっているものに○をつけましょう。

() 秦大津父はたのおおつちは秦伊呂巨はたのいりこより後の時代の人。

() 秦氏はたしはかなり力ちからを持もっていた。

() 伏見稲荷大社ふしみいなりおほいそは全国ぜんこくに三万社さんまんにある。

⑩ 上の話わがたの感想かんさうを五行ごぎやうでまとめましょう。

できばえは？



稲荷山についてお話ししましょう。全国に約三万もの〇〇稲荷神社という神社があるそうなのですが、それらの本家本元が、たてわり活動でのぼる山の伏見稲荷大社です。

ここに稲荷（稲成り）をまつたのは秦氏の一人、秦伊呂巨はたのいという人だそうです。七一年のことだそうです。それより九年前に秦都理はたのとという人が松尾大社を建てていますが、この二人は兄弟だという人もいます。

でももっと前から稲荷山のふもとに秦氏が住んでいた証拠があります。こんな伝説があるのです。

「欽明天皇がまだ皇太子だった時、夢の中でおつげがあったという。『日本のどこかに秦大津父はたのおおつちという名前の人がきつといるからその人を探して大蔵大臣にするがよい。そうすれば、世の中は落ち着き、国は栄えるだろう。』それで、探し回ったら本当にその名前の人がいた。それで、大蔵大臣をしてもらって、政治がうまくいった。」というものです。

伏見稲荷ができるよりも二百年ほど前のはなしです。秦大津父はどうかやら当時の都飛鳥（現在の奈良県明日香村）と伊勢を行ったり来たりして水銀を運んでいたそうです。当時は水銀が伊勢ではたくさんとれていて、中国にも輸出していたほどでした。

古墳の発掘をすると、どっさり水銀でできた朱でかざられたものがでてきますが、不老不死の薬やおまじないにつかわれたようなのです。きつとそのころから、稲荷山のふもとに住む秦氏は力をたくわえていたのでしょうかね。次号で、稲荷山のもちの伝説のはなしをしてみましよう。まだまだ奥が深いですよ。

音読サイン↓

① 何の話でしょう？

② たてわり活動でのぼる山は何という名前ですか？

③ 本家本元の意味を調べて書きましよう。

④ 伏見稲荷大社ができたのは何年前ですか？

⑤ 伏見稲荷大社はだれがたてましたか？

⑥ 松尾大社をたてたのはだれですか？

⑦ 伏見稲荷大社と松尾大社の共通点は？

⑧ 秦大津父はたのおおつちについてわかったことをかじょうがきでまとめましよう。

⑨ あっているものに○をつけましよう。

() 秦大津父は秦伊呂巨より後の時代の人。

() 秦氏はかなり力を持っていた。

() 伏見稲荷大社は全国に三万社ある。

⑩ 上の話の感想を五行でまとめましよう。

できばえは？

